

平成31年度
事務事業別予算概要書

(建設部関係)

平成31年度事務事業シート(計画)目次

大綱	目標	施策	事務事業番号	事務事業名	所属名	掲載ページ
第2節 安全で安心な暮らしを地域で支えあうまち ー安心づくりー						
③災害や犯罪などのリスクに強い安全なまち						
2-8 自然災害に強いまちづくりの推進						
		208	6	橋梁長期保全事業	維持課 1
		208	10	河川整備事業	河川港湾課 2
		208	15	急傾斜地崩壊対策事業	河川港湾課 3
		208	17	高潮対策事業	河川港湾課 4
第3節 環境と調和した生活しやすいまち ー快適づくりー						
①魅力ある住環境の整ったまち						
3-3 市民ニーズに応じた多様な住宅ストックの形成						
		303	2	市営住宅等管理運営事業	住宅課 5
		303	3	市営住宅建設事業	住宅課 6
		303	5	空家対策事業	住宅課 7
②だれもが移動しやすいまち						
3-6 利便性の高い道路網の形成						
		306	2	市道整備事業	道路建設課 8
3-7 すべての人にとって移動しやすい公共交通網の充実						
		307	3	駐車場管理運営事業	建設管理課 9
第4節 交流が盛んなにぎわいのあるまち ー活力づくりー						
①地域特性を活かした活力のにぎわいのあるまち						
4-1 農業経営の強化による活力ある農山村の形成						
		401	24	農道整備事業	道路建設課 10

平成 31 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	208 - 6	新規・継続	継続
事務事業名	橋梁長期保全事業	一般会計	8 款	2 項	2 目
所 属	建設部 維持課 維持第1係・維持第2係			総合計画施策体系	2 - 8

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	道路橋の老朽化に対応するため、橋梁の点検結果に基づき計画的に修繕を行い、橋梁を長寿命化し、維持管理費用の縮減及び平準化を図る。						
対象 (誰・何を対象に)	東広島市管理橋梁1,438橋						
事業の概要 及び H31活動計画	<p>1 事業概要 長寿命化計画で、対策が必要とされた10m以上の橋梁58橋(健全度Ⅲ及びⅣ)のうち、対策が完了していない10橋を平成32年度までに修繕を完了する。 管理橋梁1,438橋を5年間隔(約290橋/年)で点検を実施する。</p> <p>2 事業スケジュール〔10m以上の橋梁〕 平成30年度 対策済み橋梁数 48橋(H29年度末) 7月豪雨による災害復旧事業を優先するため修繕を休止 平成31年度 修繕工事橋梁数 1橋 平成32年度 修繕工事橋梁数 9橋</p> <p>3 総事業費〔10m以上の橋梁〕 平成31～32年度 約10億6千万円(10橋分の事業費)</p> <p>4 H31活動計画(196,787千円)〔すべての橋梁〕 (1) 補修工事委託(JR) 八本松大橋補修工事委託(100,000千円) (2) 定期点検業務(JR) 4橋(20,000千円) (3) 橋梁点検 一般325橋(70,000千円) (4) 橋梁長寿命化修繕計画策定業務委託(5,200千円) (5) 使用料等(1,250千円) (6) その他事務費(337千円)</p>						
	 <p>補修を進めている八本松大橋</p>		 <p>点検状況</p>				
活動・結果 指標	【活動・結果指標名】	単位	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)		
	橋梁補修設計実施数〔すべての橋梁〕	橋	29	1			
	橋梁補修工事実施数〔すべての橋梁〕	橋	12	5	1		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	利用者に与える社会的影響の大きい橋長10m以上で、損傷が大きく対策が必要な橋梁(健全度Ⅲ及びⅣ)の補修済数及び補修率を成果指標に設定している。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	29年度 (実績値)	30年度 (目標値)	31年度 (目標値)	32年度 (目標値)	一年度 (目標値)
	対策が必要な橋梁の補修済数 〔橋長10m以上の橋梁 58橋〕	橋	48	51	52		
	対策が必要な橋梁の補修率 〔橋長10m以上の橋梁 58橋〕	%	82.76	87.93	89.66		

3 コスト情報


		29年度(決算)	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	402,327 千円	472,010 千円	196,787 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	184,792 千円	183,700 千円	68,310 千円	千円
	地方債	75,600 千円	97,000 千円	16,200 千円	千円
	その他	千円	千円	千円	千円
一般財源	141,935 千円	191,310 千円	112,277 千円	千円	

平成 31 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	208 - 10	新規・継続	継続
事務事業名	河川整備事業	一般会計	8 款	3 項	1 目
所 属	建設部 河川港湾課 河川港湾係	総合計画施策体系	2 - 8		

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	河川整備により、治水安全度の向上と護岸決壊等による水害から、地域住民の生命・財産を守り、安全な生活環境を確保する。						
対象 (誰・何を対象に)	未整備河川の流域周辺住民						
事業の概要 及び H31活動計画	<p>1 事業概要 護岸決壊等の水害から地域住民の生命・財産を守るため、河川整備により河川流下能力の向上を図る。</p> <p>2 H31活動計画(96,362千円)</p> <p>(1) 河川測量設計(19,000千円) 2河川の測量設計を行う。(延長L=232m)</p> <p>(2) 河川整備工事(65,000千円) 2河川の整備工事を行う。(延長L=120m)</p> <p>(3) 河川整備に係る物件移転補償費(1,000千円)</p> <p>(4) 河川台帳作成(11,000千円)</p> <p>(5) その他経費(362千円)</p> <p style="text-align: center;">大谷川(西条町馬木)</p> 						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)		
	河川整備延長	m			120		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	整備要望のあった普通河川について、H31年度からH35年度の5年間で8河川1,052mの河川整備を行う計画としている。 この整備延長1,052mを分母とし、整備完了延長の累計を分子とする整備率を河川災害等の未然防止の成果指標とする。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	29年度 (実績値)	30年度 (目標値)	31年度 (目標値)	32年度 (目標値)	一年度 (目標値)
	整備率	%		11.4			

3 コスト情報

		29年度(決算)	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	106,892 千円	108,807 千円	96,362 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	80,000 千円	千円
	その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	106,892 千円	108,807 千円	16,362 千円	千円

平成 31 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報		事務事業番号	208 - 15	新規・継続	継続
事務事業名	急傾斜地崩壊対策事業	一般会計	8 款	3 項	2 目
所 属	建設部 河川港湾課 河川港湾係	総合計画施策体系			2 - 8

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	急傾斜地の崩壊による災害の防止を図る。				
対象 (誰・何を対象に)	急傾斜地崩壊危険箇所のうち要望箇所				
事業の概要 及び H31活動計画	<p>1 事業概要 急傾斜地の崩壊から生命を守るため、急傾斜地崩壊危険箇所の整備を行う。</p> <p>2 H31活動計画(125,660千円)</p> <p>(1) 市営急傾斜地崩壊対策工事及び測量設計(107,000千円) 中河内地区、日名条6地区、郷6地区、上条3地区の対策工事を行う。 小竹4地区の測量設計を行う。</p> <p>(2) 市営急傾斜維持管理業務(2,000千円) 砂原地区の立木の伐採等を行う。</p> <p>(3) 県営急傾斜地崩壊対策工事に係る事業負担金(15,000千円) 上条1地区、郷3地区、郷5地区の事業負担を行う。</p> <p>(4) その他経費(1,660千円)</p>				
	<p>位置図</p>				
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)
	市営急傾斜地崩壊対策事業工事延長	m	75	89	58
	県営急傾斜地崩壊対策事業工事延長	m	50	80	35
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	<p>人家2戸以上の急傾斜地崩壊危険か所のうち、事業要望箇所76か所を分母とし、対策完了か所の累計を分子とする整備率を成果とする。</p>				
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	29年度 (実績値)	30年度 (目標値)	31年度 (目標値)
	急傾斜地崩壊対策事業要望箇所整備率	%	79	80	82
				31年度 (実績値)	32年度 (目標値)
				達成率	(目標値)
					一年度 (目標値)

3 コスト情報

		29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (予算)	32年度 (予算)
事業費	事業費合計 (A)	88,726 千円	109,739 千円	125,660 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	40,600 千円	48,000 千円	49,500 千円	千円
	地方債	42,600 千円	57,900 千円	67,500 千円	千円
	その他	千円	千円	1,500 千円	千円
	一般財源	5,526 千円	3,839 千円	7,160 千円	千円

平成 31 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	208 - 17	新規・継続	継続
事務事業名	高潮対策事業	一般会計	8 款	3 項	1 目
所 属	建設部 河川港湾課 河川港湾係			総合計画施策体系	2 - 8

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	台風時等の高波、高潮により発生する浸水被害の軽減を図る。									
対 象 (誰・何を対象に)	安芸津町海岸周辺の住民									
事業の概要 及び H31活動計画	<p>1 事業概要 安芸津町沿岸における高潮等の被害を軽減するため対策を行う。</p> <p>2 H31活動計画(25,010千円) (1) 風早地区高潮対策(25,000千円) 風早地区吉末川河口の排水機場設計を行う。</p> <p>(2) その他経費(10千円)</p> <p style="text-align: center;">風早地区高潮対策位置図</p> 									
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)					
	風早地区高潮対策事業の推進	千円			25,000					
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	風早地区高潮対策事業の全体事業費を分母とし、年度ごとの事業費の累計を分子とすることにより風早地区高潮被害改善の指標とする。									
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	29年度 (実績値)	30年度 (目標値)	31年度 (目標値)	32年度 (目標値)	31年度 (実績値)	達成率	32年度 (目標値)	一年度 (目標値)
	高潮対策事業進捗率	%			3					

3 コスト情報

		29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (予算)	32年度 (予算)
事業費	事業費合計 (A)	21,799 千円	51,032 千円	25,010 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	21,799 千円	51,032 千円	25,010 千円	千円

平成 31 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報		事務事業番号	303 - 2	新規・継続	継続
事務事業名	市営住宅等管理運営事業	一般会計	8 款	6 項	1 目
所 属	建設部 住宅課 住宅係	総合計画施策体系	3 - 3		

2 事務事業の概要・活動計画・指標										
目的 (何のために)	住宅に困窮している低所得者等に低廉な家賃で住宅を賃借することにより、市民生活の安定と社会福祉に寄与する。									
対 象 (誰・何を対象に)	市営住宅及び西条駅前再開発住宅の入居者									
事業の概要 及び H31活動計画	<p>1 指定管理者による維持管理(74,114千円)</p> <p>(1) 対象住宅戸数</p> <p>ア 市営住宅:59団地977戸、借上住宅1団地10戸 再開発住宅:1棟住戸21戸、店舗10区画</p> <p>イ 市営住宅の内訳 (旧市)26団地558戸 (黒瀬)15団地136戸 (福富)4団地36戸 (豊栄)2団地32戸 (河内)6団地99戸 (安芸津)6団地116戸</p> <p>(2) サービス内容</p> <p>ア 指定管理者による、公営住宅の維持管理及び効率的な運営を図る。</p> <p>イ 入居者に対する迅速な維持管理、年間を通じて24時間の修繕対応</p> <p>2 市営住宅施設管理の経常経費(15,915千円) 土地賃借料(8団地)、光熱水費、浄化槽負担金</p> <p>3 市営住宅使用料等の滞納整理(4,663千円) 債権管理嘱託員2人の報酬等 訴訟代理人(弁護士)報償費、手数料等</p> <p>4 住宅システム維持管理(2,595千円) 保守、改元対応に係るシステム改修</p> <p>5 その他事務費(5,322千円)</p>									
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)					
	修繕依頼件数	件	504	450	460					
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	入居者満足度を成果指標とする。									
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	29年度 (実績値)	30年度 (目標値)	31年度 (目標値)	32年度 (目標値)	31年度 (実績値)	達成率	32年度 (目標値)	一年度 (目標値)
	維持管理対応満足度	%	92	89	90					

3 コスト情報					
事業費	事業費合計(A)	29年度(決算)	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(予算)
	財源内訳	92,746 千円	101,778 千円	102,609 千円	千円
	国県支出金	千円	677 千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	92,746 千円	101,101 千円	102,609 千円	千円
	一般財源	千円	千円	千円	千円

平成 31 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	303	-	3	新規・継続	継続
事務事業名	市営住宅建設事業	一般会計	8 款	6 項	2 目	ハード	
所 属	建設部 住宅課 計画調整係	総合計画施策体系				3 - 3	

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	市営住宅の入居者が、安心して暮らせる住環境を整備するため、長寿命化計画に基づき住戸改善・長寿命化工事等を実施する。						
対 象 (誰・何を対象に)	市営住宅入居者						
事業の概要 及び H31活動計画	<p>1 住戸改善等に係る工事等(57,500千円) (1) 市営菅田第1・第2住宅改修工事(第1・第2:4棟27戸) (長寿命化) (2) 市営菅田第1・第2住宅改修工事監理業務</p> <p>2 老朽市営住宅解体工事等(4,594千円) 市営磯松西住宅解体工事(2棟2戸)</p> <p>3 住戸改善工事に係る設計等(5,000千円) (1) 市営沖の殿ハイツ改修設計業務(1棟18戸) (2) 市営寺山住宅改修設計業務(3棟36戸)</p> <p>4 借上型市営住宅に係る費用(賃貸借料等)(7,274千円) 借上型住宅10戸の実施</p> <p>5 その他事務費(537千円)</p>						
活動・結果 指 標		単位	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)		
	市営住宅改修	戸	32	26	27		
	老朽化住宅の解体	戸	6	13	2		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	市営住宅のストック形成を目標に、住戸改善・長寿命化工事の実施計画(H24年度～H33年度)戸数に対する実施戸数を改修率として成果指標とする。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	29年度 (実績値)	30年度 (目標値)	31年度 (目標値)	32年度 (目標値)	一年度 (目標値)
	市営住宅改修率	%	55.4	59.7	64.2		

3 コスト情報

		29年度(決算)	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	80,535 千円	96,581 千円	74,905 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	25,843 千円	30,568 千円	28,125 千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	54,692 千円	66,013 千円	46,780 千円	千円

平成 31 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	303 - 5	新規・継続	継続
事務事業名	空家対策事業	一般会計	8 款	6 項	1 目
所 属	建設部 住宅課 計画調整係	総合計画施策体系	3 - 3		

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	空家の状態に応じた対策を推進し、増加を抑制するとともに、管理不全な空家等の減少を図り、良好な住環境を形成する。						
対 象 (誰・何を対象に)	市民、及び市内に住宅を所有する方						
事業の概要 及び H31活動計画	<p>1 空家等対策の取組みに係る経費(8,318千円)</p> <p>(1) 発生抑制 広報紙、パンフレット等を用い、空家の課題、事前対応の重要性、適切な管理方法などを啓発し、空家の発生抑制を図る。</p> <p>(2) 適正管理 専門家団体等の紹介や、空家の維持管理に関する相談等を行う。また、管理不全な空家については、所有者等へ指導を行い、空家の適正管理を促進する。</p> <p>(3) 利活用 『空き家バンク』への登録を促進するために、未登記住宅等の登記にかかる費用の一部を補助し、空家の利活用促進を図る。</p> <p>【新】</p> <p>・ 空家登記支援</p> <p>(4) 除却・跡地活用 空家法、空家条例に基づく措置を行うとともに、除却・跡地活用に係る費用の一部を補助し、管理不全な空家、老朽空家の減少を図る。</p> <p>・ 老朽空家解体除却、跡地活用支援</p> <p>2 その他事務費(149千円)</p>						
活動・結果 指 標		単位	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)		
	空き家バンク登録件数	件	—	35	35		
	老朽危険な空家指導啓発件数	件	—	210	200		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	良好な住環境の形成を事業の目的としていることから、地域の生活環境に影響を及ぼす可能性がある、老朽危険空家の除却による減軒数を、成果指標とする。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	29年度 (実績値)	30年度 (目標値)	31年度 (目標値)	32年度 (目標値)	一年度 (目標値)
	老朽危険空家の減少	軒	—	15	15		

3 コスト情報



		29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (予算)	32年度 (予算)
事業費	事業費合計 (A)	千円	13,620 千円	8,467 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	2,000 千円	1,000 千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	千円	3,250 千円	1,850 千円	千円
	一般財源	千円	8,370 千円	5,617 千円	千円

平成 31 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	306 - 2	新規・継続	継続
事務事業名	市道整備事業	一般会計	8 款	2 項	3 目
所 属	建設部 道路建設課 市道第1係・市道第2係・農林道係	総合計画施策体系	3 - 6		

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	国・県道を補完して道路交通網を充実させる幹線道路と、緊急自動車の通行確保等を行う生活道路の整備により、交通の安全性及び利便性の向上を図る。						
対 象 (誰・何を対象に)	市民及び通行車両						
事業の概要 及び H31活動計画	<p>1 事業概要</p> <p>(1) 幹線道路の整備 国・県道を補完する道路交通網の構築、渋滞箇所の改善、市が進めている主要施策等に関連した道路整備を行う。</p> <p>(2) 生活道路の整備 災害時の避難路や緊急自動車の通行確保等、安全安心な市民生活に寄与する道路整備を行う。</p> <p>2 H31活動計画(176,519千円)</p> <p>(1) 幹線道路の整備(118,376千円)</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 特定防衛施設周辺整備調整交付金事業(48,436千円)</p> <p style="margin-left: 40px;">路線数 1路線 整備延長 L=226m(供用延長)</p> <p style="margin-left: 20px;">イ その他の幹線道路(69,940千円)</p> <p style="margin-left: 40px;">路線数 5路線(測量設計のみ実施する路線を含む) 整備延長 L=120m(供用延長)</p> <div style="text-align: right; margin-right: 20px;">  整備後の幹線道路 </div> <p>(2) 生活道路の整備(58,143千円)</p> <p style="margin-left: 20px;">路線数 6路線(測量設計のみ実施する路線を含む) 整備延長 L=0m(供用延長)</p> <div style="text-align: right; margin-right: 20px;">  整備後の生活道路 </div>						
活動・結果 指 標		単位	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)		
	道路整備延長(幹線道路)	m	3,288	900	800		
	道路整備延長(生活道路)	m	1,468	1,500	2,700		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	歩行者・車両の安全性・利便性を確保することを示す指標として、幹線道路5カ年(H28～H32)の計画供用延長を分母とし、毎年度の幹線道路供用延長の累計を分子とする整備率を成果指標とする。緊急車両の通行や離合困難箇所の解消を示す指標として、生活道路5カ年(H28～H32)の計画供用延長を分母とし、毎年度の生活道路供用延長の累計を分子とする整備率を成果指標とする。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	29年度 (実績値)	30年度 (目標値)	31年度 (目標値)	32年度 (目標値)	一年度 (目標値)
	幹線道路の整備率(H28～H32)	%	56.7	70.7	80.5		
	生活道路の整備率(H28～H32)	%	29.7	46.5	73.3		

3 コスト情報

		29年度(決算)	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	1,316,212 千円	1,288,386 千円	176,519 千円	千円
	財源内訳	341,687 千円	201,200 千円	30,000 千円	千円
	国県支出金	350,700 千円	272,100 千円	千円	千円
	地方債	146 千円	千円	千円	千円
	その他	623,679 千円	815,086 千円	146,519 千円	千円
	一般財源				千円

平成 31 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	307 - 3	新規・継続	継続
事務事業名	駐車場管理運営事業	一般会計	8 款	2 項	1 目
所 属	建設部 建設管理課 管理調整係	総合計画施策体系			3 - 7

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	東広島市内の自転車駐車場、駐車場の円滑な利用を促進するための管理運営を行う。						
対象 (誰・何を対象に)	施設利用者						
事業の概要 及び H31活動計画	<p>1 施設の管理運営(84,011千円) 市内の無料自転車駐車場(20施設)の清掃、管理及び指定管理者制度による自転車駐車場(5施設)・駐車場(7施設)の管理を行う。</p> <p>2 自転車駐車場及び駐車場の修繕(15,640千円) 各駐車場施設の修繕</p> <p>3 放置自転車の撤去保管(3,602千円) 市内の放置禁止区域内の放置自転車及び自転車駐車場内の長期放置自転車等の撤去や保管及び返還を行う。</p> <p>4 自転車駐車場及び駐車場の賃借料等(65,224千円) 西条岡町駐車場リース料、西条駅前第1自転車駐車場システム賃借料</p> <p>5 自転車駐車場敷地の借地料(3,627千円) 西条、白市、西高屋各駅前自転車駐車場(6施設)の借地料</p> <p>6 その他事務(6,131千円) 駐車場施設管理の必要経費(消耗品費、手数料等)</p>						
	寺家駅南自転車駐車場	西条岡町駐車場					
							
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)		
	自転車等駐車台数(有料駐車場)	台	806,934	993,000	960,000		
	自動車駐車台数(有料駐車場)	台	487,552	388,000	500,000		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	各施設の利便性の向上(清掃等)、施設利用者の満足度の向上と、自転車放置禁止区域の周知を行うことにより、自転車駐車場の利用者数の増加と放置自転車の減少を目的として、放置自転車の撤去台数の減少を目標とする。(マイナス目標設定)						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	29年度 (実績値)	30年度 (目標値)	31年度 (目標値)	32年度 (目標値)	1年度 (目標値)
	放置禁止区域自転車等撤去台数	台	184	200	175		

3 コスト情報


		29年度(決算)	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	486,776 千円	162,478 千円	178,235 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	126,414 千円	138,295 千円	125,901 千円	千円
	一般財源	360,362 千円	24,183 千円	52,334 千円	千円

平成 31 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	401 - 24	新規・継続	継続
事務事業名	農道整備事業	一般会計	6 款	1 項	6 目
所 属	建設部 道路建設課 農林道係	総合計画施策体系	4 - 1		

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	農作業の効率化や生産コストの低減、維持管理の節減により、効率的で安定的な農業経営の確立を図る。						
対 象 (誰・何を対象に)	東広島市管内の農道整備要望箇所						
事業の概要 及び H31活動計画	<p>1 事業の概要 農道改良要望路線の工事を実施する。</p> <p>2 H31活動計画 農道の整備路線数 2路線 改良工事延長 L=177m(2路線)</p> <p>3 事業費(29,853千円)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  改良工事済 </div> <div style="text-align: center;">  改良工事予定 </div> </div>						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)		
	農道改良箇所	箇所	8	8	2		
	農道供用延長(単年度)	m	432	242	70		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	農道整備によって、作業効率の向上が図られる農地の受益面積(累計)を成果指標として設定する。 {達成率=実績値/目標値(ha)}						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	29年度 (実績値)	30年度 (目標値)	31年度 (目標値)	32年度 (目標値)	一年度 (目標値)
	受益面積の拡大(平成23年度からの累計)	ha	16.9	18.2	18.4		

3 コスト情報

		29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (予算)	32年度 (予算)
事業費	事業費合計 (A)	74,916 千円	79,113 千円	29,853 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	4,500 千円	4,500 千円	4,500 千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	70,416 千円	74,613 千円	25,353 千円	千円